公立阿伎留医療センター

No.91　平成 30 年 6 月 1 日

地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行　地域医療連携センター
電話　042-558-0321（代表）
FAX　042-550-5190（直通）

公立阿伎留医療センター脳神経外科赴任にあたり

脳神経外科長　　島田　篤

2018 年 4 月から公立阿伎留医療センターに赴任し、脳神経外科長を拝命いたしました。東京都多摩地区を中心に 20 年以上、脳卒中診療を中心に取り組んできました。脳卒中疾患の外科治療には、脳血管内治療（カテーテル治療）と開頭術がありますが、そのいずれも行える脳神経外科医（二刀流やハイブリット脳外科医と呼ばれます）として経験を積んできました。手術が必要な方には、患者さんが病気をどうしてほしいのかを捉え、カテーテル治療と開頭術の両方の面を検討 し、治療を受けられる方の立場に立ち、可能な限り患者さんのご希望に沿った治療を行うよう考えています。

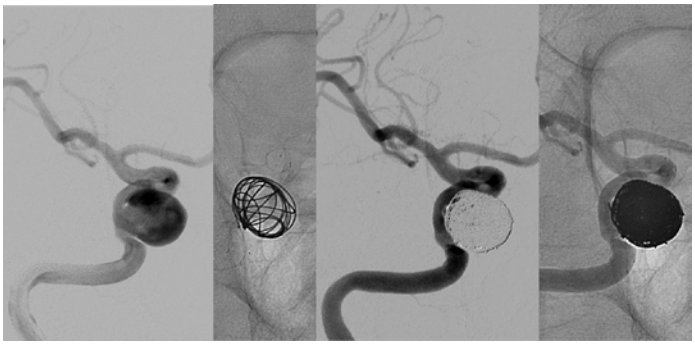
ここでは、主な脳血管内治療の対象疾患と治療方法について紹介させていただきます。

【脳血管内治療の対象となる疾患と治療法】

・急性期脳梗塞に対する機械的血栓回収療法（急性期再開通療法）
・頭蓋内脳血管狭窄に対する経皮的脳血管拡張術およびステント留置術
・頸動脈狭窄症に対するステント留置術
・破裂脳動脈瘤（くも膜下出血）に対するコイル塞栓術
・未破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術
・脳動静脈奇形に対する塞栓術
・硬膜動静脈瘻に対する塞栓術
・頸動脈・海綿静脈洞瘻に対する塞栓術
・脳腫瘍に対する栄養血管塞栓術
・難治性鼻出血に対する血管塞栓術

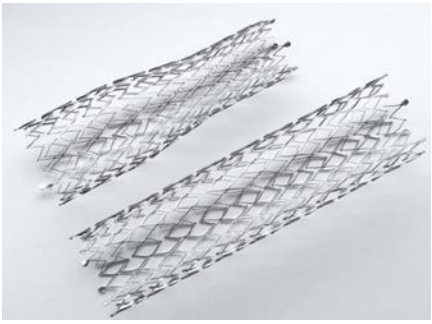
脳動脈瘤に対するコイル塞栓術

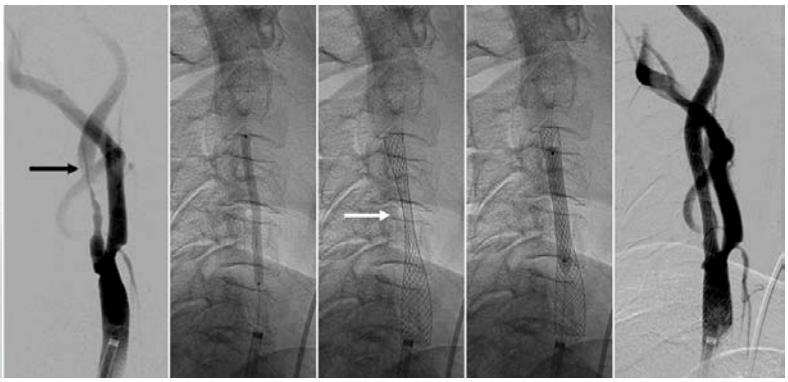
脳動脈瘤は、破裂によりくも膜下出血を起こします。治療法には開頭クリッピング手術と脳動脈瘤コイル塞栓術があります。脳動脈瘤コイル塞栓術の最大の魅力は「頭を切らない」で治せることです。その反面、動脈瘤の形や大きさによりコイル塞栓術に不向きな場合があること、動脈硬化が強い場合はカテーテルそのものが誘導困難で治療できない場合があるなどの欠点もあります。近年、ステント支援法が可能となり、かつては困難であった脳動脈瘤の治療も可能となりました。



頸動脈狭窄症に対するステント留置術

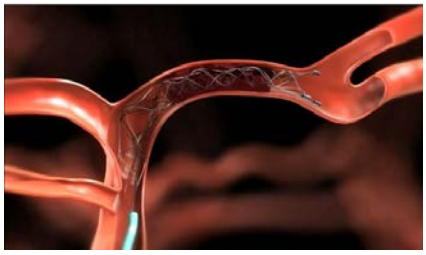
頸動脈狭窄は、動脈硬化により頸部血管の狭窄をきたし、脳梗塞の原因となります。狭窄部にはコレステロール塊や固い成分が沈着し（プラーク）、プラーク破綻来たすと脳血管に飛散します。 頸動脈ステント留置術の最大の魅力は局所麻酔で、頸部を切らないで治せることで、手術時間も 1 時間程度ですみます。

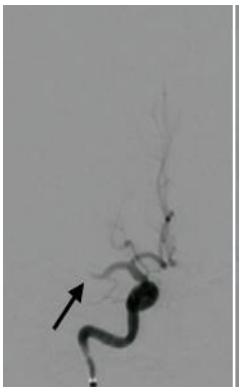


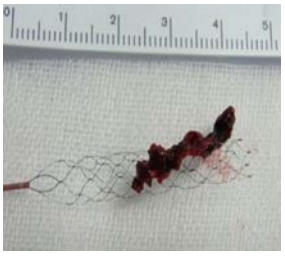


急性期脳梗塞に対する機械的血栓回収療法

発症 6 時間以内の脳梗塞超急性期で大きな脳梗塞が完成しておらず、t-PA 静注療法の効果が得られない場合や、t-PA 静注療法適応外の場合、直接閉塞した血管の中までカテーテルを進めて血栓を除去する治療があります。日本では 2010 年から保険適応となりました。血管閉塞の原因となっている血栓を、ステント型の血栓除去器材あるいは血栓吸引カテーテルという道具を用いて除去します。再開通率は 70～90%程度で安全性も高いことが報告されています。







【おわりに】

片麻痺や言語障害、頭痛など脳卒中が疑われる症例がありましたら、遠慮なくご紹介・ご相談ください。

【脳神経外科外来担当医表】

月	火	水	木	金
伊藤　宣行	岡村　優真	前村　栄治	伊藤　宣行	平岩　直也
島田　篤	平岩　直也※			島田　篤

※　物忘れ外来は完全予約制です。まずは、一般外来を受診いただき、日程を調整いたします。現在受診希望の方が多く、大変混み合ってありますので、物忘れ外来受診までには、待ち期間があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

ＣＴ・ＭＲＩ・ＲＩ等のご予約について

放射線科長　花岡　明

画像診断をご希望される方は、診察なしで、ダイレクトに放射線科でご予約を承ります。放射線科医（非常勤）による正確な読影結果を迅速に返信いたします。専用の申し込み用紙がございますので、ご利用ください。

６４スライスＣＴ　１台
１６スライスＣＴ　１台

ＭＲＩ装置（１．５Ｔ）２台

ガンマカメラ装置

血管造影装置
（平成２９年８月更新）

検査予約は放射線科にお電話ください。（042－558－0321　内線 2200）
空いている日時をご案内いたしますので、決定後に専用の申し込み用紙を（042－558－0571　放射線科直通）までＦＡＸしてください。
複写になっている予約票を診療情報提供書と共に患者さんに持参いただくようお伝えください。読影結果は１週間以内に郵送いたします。また、フィルム、ＣＤ-Ｒをご希望の方には当日患者さんにお渡しします。先生方からのご紹介をお待ち申し上げております。

地域医療連携センターニュースの内容などについては、蓑島（副センター長・看護師）、神田（事務担当）までお問合せください。電話　０４２－（５５８）－０３２１（代表）　FAX　０４２－（５５０）－５１９０